

女川町の漁業を支える「番屋」が復活 ～『女川町高白浜地区仮設施設』～

【宮城県女川町高白浜地区】

名称：女川町高白浜地区仮設倉庫
所在地：宮城県牡鹿郡女川町高白浜字高白浜2番1
種別：仮設倉庫(漁業施設)
延床面積：105㎡
入居者：宮城県漁業協同組合支所が管理し、津波により被災した女川町高白浜地区の漁業者が共同で利用
区画数：2区画
建物構造：軽量鉄骨造2階建て
事業開始：平成23年6月27日
完成：平成23年9月22日

宮城県東部沿岸に位置する女川町は、震源にもっとも近い地域で、大震災により甚大な被害を受けた。

女川町では、大震災時の津波が平地部で約20mの高さに達し、高台に所在する一部の建物以外の建物は全て壊滅状態となり、各種産業施設もすべて失われた。

町内の各地区も甚大な被害を被ったため、基幹産業である漁業・水産加工業の事業施設の早期回復を強く望んでいた女川町では、各浜での漁業者の活動の拠点となる漁業施設(番屋、共同漁業倉庫・共同作業場)の機能回復を図るため、各浜12カ所の漁業施設を同規模で復旧することを計画し、中小機構に仮設施設整備を要望した。

各施設は順次完成しているが、高白浜地区仮設施設は、平成23年9月22日に建築工事が完成、町を通じて貸与され、漁業者の共同利用が開始された。

